

エビオネット
増刊号

Thanks for your message



ありがとうの声



患者さんに血液が届くまで



誰かの献血のおかげで今の私があります。



誰かの献血のおかげで今の私があります。
自分が病気になり、改めて献血の尊さを実感しました。
献血されている皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

いつものように目覚めた朝、下腹部が急激な痛みに襲われ、救急車で病院搬送されました。
病院での検査でステージⅠの卵巣ガンと判明し、子宮を全摘出することになりました。
腫瘍破裂による多くの出血により、手術で輸血されたことを主治医から説明されたとき、
「ああ もう献血できないのか、もっとたくさん献血しておけばよかったな」と、心の底から後悔しました。
手術から7か月後、治療を乗り越え、無事に職場復帰することができました。

献血いただいている皆様をはじめ病院スタッフや職場スタッフの皆様
本当にありがとうございました。

全文は
コチラから!!





娘が中学2年の時(9年前)こちらで職場体験をさせて頂きました。天文館ルーム前での献血呼びかけや献血の必要としている方がこちらに来て(勉強して)分かり、18歳になったら…とハッキリしていたが、病気になる、本人は献血をすることが出来なくなりました。娘の治療に(グロブリン)投与があり、たくさんの方の血液を使わせて頂きました。娘はとても感謝しています。親の私に「自分の代わりに献血して」と話します!可能な限り、私もどなたかの役に立てれば、とさせていただきます。思っています。

みー母



Thanks for your message

ありがとうの声

献血によって命を支えられた方々や医療関係の皆さまから寄せられた感謝のメッセージをご紹介します。



学生時代より献血はしていました。子育て中は、忙しく病気になる投薬中は、中止せざるを得ませんでした。子育てが終わり、元気になる、献血再開しました。しかし、血管細く、体重が不足で出来なくて残念なときもありますが、私にとっては、献血することが、健康のパロメーターになっています。今回は娘と来て、2人共に献血できました。また声かけて参加します。皆様もぜひ献血で親子の関係をよくしましょうね。

あわてん坊のサンタクロース



明日で震災10年目。10年前子育てで何も社会貢献できなかった、しなかった私ですが、今から少しずつ人のため、未来のために貢献していきたいと思います。3/11は私のBD、社会へ貢献する日にしました。決めました。

HARU



私は看護士として患者さんに輸血を行っています。貧血で倦怠感が強い患者さんが輸血をすると元気に歩行できるようになったり、食事をとることができたりする様子をいつも見ている、輸血の効果を感じ、ありがとうございます。輸血は命をつなげるだけでなく患者さんのQOLを高めることができる大切なものです。これからもよろしくお願いします。

けんけつありがとうございます



いつも献血にご協力ありがとうございます。私は血液内科外来の看護士です。毎日輸血に携わっているものからすると、定期的にほとんど滞りなく輸血ができることに感謝しかありません。コロナの時期、九州以外からの血液を目にする全国の方からご協力をいただきありがたい一言です。鹿児島からも全国の患者さんにパワーを与えましょう!

Mちゃんま



感謝のメッセージ
ありがとうっ!



はじめて献血をしたのは、高校生の時、献血が誰かの命を救うなんて考えてもいなかった頃でした。それから数十年、何気なく続けてきた献血でした。それが、[いのちを救う]を実感したのは数年前、息子が突然の病で入院した時でした。必死で生きようとしていた息子に、輸血は「頑張れ!!!」とパワーをくれていたように思いました。残念ながら息子はそこで力つきてしまったのですが、最期まで生きようと頑張らせたたくさんの方々の善意に感謝の気持ちでいっぱいでした。何気なくやっていた献血から、今は、亡き息子に代わって少しでも誰かのために…との思いで、できる限り続けていけたらと思います。

N.O



鹿児島のご当地献血キャラクター
黒豚 チッチ

献血をしてくださった皆様へ感謝の気持ちをお伝えしたくてメッセージを送ります。私は五年前に急性骨髄性白血病になりました。寛解しましたが、昨年再発して今治療中です。何回も輸血を受けました。輸血を受けるたびに意識が戻ってきます。皆様からいただいた輸血で命を助けてもらっています。心から感謝して今を生きています。ありがとうございます。助けていただいた命です。一日一日大切に生きていきます

赤木 薫

ありがとうの
声がいっぱいで
うれしいっ!



献血制度が始まったころ友人達と「健康診断」と言っって献血に何度も行きました。血小板献血で血小板が多くなりはじめは喜んでいたのでどんどん増加し70万になりドクターストップ。それから数十年、今は輸血のお世話になっています。「誰かのため」だけではなく自分の健康診断のためにも献血者が増えることを願っています。ありがとうございます。

梅北 美智子



令和元年6月、思いもかけない病名を告知されました。骨髄異形成症候群。即入院、抗がん剤治療が始まりました。輸血は赤血球と血小板を交互に行い、いただく前は「どの県の方の血液ですか」と尋ね、九州各県の方々の善意の献血によるものと知り、益々感謝です。赤十字社は献血をはじめ多岐にわたる事業をしておられもっともっと多くの方が献血推進に関心をもってくださることを切に願います。存じ上げない方の尊い血液で生かされ今このようにいることを深く感謝しております。

美波

今、現在医療機関で輸血をしていただきながら闘病中の者です。若いころ恥ずかしながら、献血の意義も深く考えることもなく他人事のように考える献血をしたことはありませんでした。しかし、病気になる、今皆様の器量な献血をいただきながら生きています。後ろめたさや反省の念が堪えません。ただただ感謝です。せめてもの救いは自分の娘が欠かさず献血を続けていること。私の精一杯の罪滅ぼしにさせていただきます。私が言えた義理ではありませんが、これから是非、献血心からお願い申し上げます。

頑張る島人





日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

2025年1月発行

鹿児島県赤十字血液センター

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1番5号

TEL 099-257-3141

FAX 099-257-3144

WEB www.bs.jrc.or.jp/bc9/kagoshima/

Instagram @kagoshima_kenketsu

献血にまつわる
エピソードを
お待ちしております

